第13号様式（日本産業規格Ａ列４番）

移動等円滑化取組報告書（航空旅客ターミナル施設）

（令和７年度）

住　　所　沖縄県那覇市字鏡水150番地

事 業 者 名　那覇空港ビルディング株式会社

代 表 者 名
（役職名および氏名）　代表取締役社長　照屋　義実

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第９条の５の規定に基づき、次のとおり報告します。

Ⅰ　前年度の移動等円滑化取組計画書の内容の実施状況

（１）移動等円滑化に関する措置の実施状況

①　旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる航空旅客ターミナル施設	現行計画の内容 （計画対象期間及び事業の主な内容）	前年度の実施状況

②　航空旅客ターミナル施設を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対　策	現行計画の内容 （計画対象期間及び事業の主な内容）	前年度の実施状況
・旅客搭乗橋　国内線 　　国際線	・国内線はステップレスの搭乗橋を設置済み ・国際線は次回更新時にステップレスの搭乗橋を設置予定	―

③　高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対　策	現行計画の内容 （計画対象期間及び事業の主な内容）	前年度の実施状況
・各種案内板の設置	・設置箇所の追加についても今後も検討していく。	―

④　高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対　策	現行計画の内容 （計画対象期間及び事業の主な内容）	前年度の実施状況
移動円滑化評価会議沖縄分科会への参加	移動円滑化会議沖縄分科会へ参加し、適切な情報収集及び提供に努める。	各種バリアフリー情報収集に努める。

⑤　移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対　策	現行計画の内容 （計画対象期間及び事業の主な内容）	前年度の実施状況
ユニバーサルデザイン関連の研修への参加 資格の取得等	・行政等が開催する各種ユニバーサルデザインやバリアフリーツアーに関する研修会へ参加し、情報収集を行い社内で共有する。 ・インフォメーションスタッフ等、バリアフリー関連の研修受講並びに資格取得を継続する。	・各種バリアフリー情報収集を継続。 ・サービス介助士9名取得 ・車いすケア実習（社内教育） ・手話講習会 ・ろう講師、聴講師による研修

⑥　高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての航空旅客ターミナル施設の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対　策	現行計画の内容 （計画対象期間及び事業の主な内容）	前年度の実施状況
・館内サインの見直し ・デジタルサイネージでの案内	・館内サインについては、持続的に最新の情報を入手し、今後も必要に応じて修正、追加等を行っていく。 ・デジタルサイネージで高齢者、障がい者等用施設の表示を検討していく。	・各種バリアフリー情報収集を継続。

（２）移動等円滑化の促進を達成するために（１）と併せて講ずべき措置の実施状況

専門家によるUD診断評価を受けた課題の再認識をしながら適時対応を実施していく。

（３）報告書の公表方法

当社HPへ掲載予定

（４）その他

各計画について、今後も状況に応じて柔軟に対応していく。